



議会だより

令和6年8月1日



おいしいね!とれたてのトウモロコシ

主な内容

令和6年6月議会定例会

気になる議案ピックアップ	2~3
議案一覧・議会閉会中の継続調査	4
一般質問	5~8
私のいいたいこと	9
議会クイズ・編集室	10

議会ホームページは
こちらから



芳賀町議会

検索

令和6年6月芳賀町議会定例会

6月3日から6日までの4日間の会期で開かれました。初日の6月3日は承認理由の説明、報告、全議案の提案理由の説明を受け、同意案を可決しました。

6月5日は一般質問を行いました。最終日の6月6日には、承認案件とその他の議案の質疑・討論・採決をし、原案どおり可決しました。

また、総務・教育民生・産業建設の各常任委員会から申し出のあった閉会中の継続調査を議決により許可することとし、定例会を閉会しました。

同意

芳賀町監査委員を選任



樋田 貞夫氏
(東水沼)

6月定例会初日の6月3日に、樋田貞夫氏(東水沼)を引き続き最適任者として選任する人事案件が提出され、議員全員の同意により選出されました。

同意

芳賀町固定資産評価審査委員会委員を選任



飯塚 表男氏
(西高橋)

6月定例会初日の6月3日に、飯塚表男氏(西高橋)を引き続き最適任者として選任する人事案件が提出され、議員全員の同意により選出されました。

〈ちょこっとQ&A〉



監査委員とは？

町の歳入、歳出などの予算が適正に執行されているかなど、町の財務に関する事務の調査や監査を行います。任期は4年です。

固定資産評価審査委員会委員とは？

固定資産評価審査委員会委員は、土地や建物の登録された価格(評価額)について納税者からの不服を審査し、決定するために設置された独立の第三者機関です。芳賀町の委員定数は3人で任期は3年です。

報告

芳賀町ロマン開発経営状況

令和5年度の経営状況は新型コロナウイルス感染症の5類移行やライトラインの開業に伴い、人流が活発化し、利用者および売上が回復しました。

令和6年度の事業計画および収支予算については、引き続き、町の魅力を生かしたイベントの開催や町の食材を活用した新商品の開発、SNSを利用した宣伝広告などにより、さらなる利用者および売上の増加を見込んでいます。



▲大人気のうなぎ販売



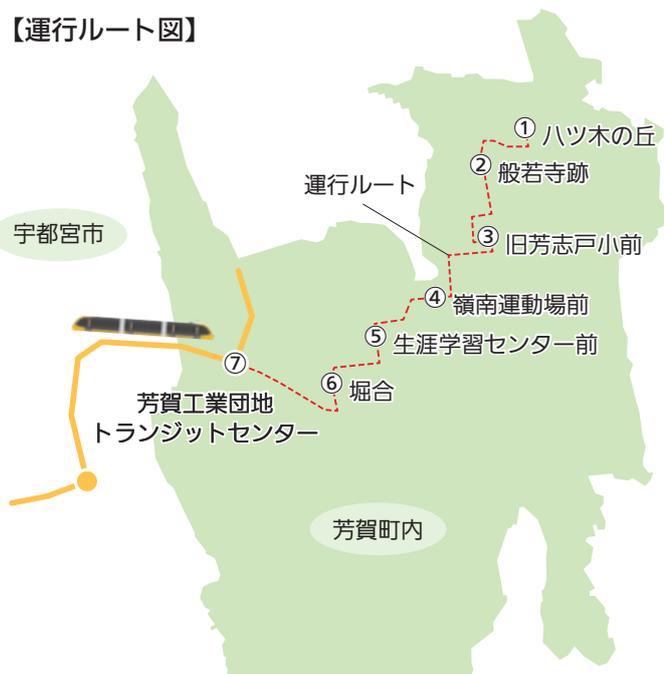
▲キッチンカー

公共交通の南北方向実証実験委託料 609万4千円

町北部エリアと芳賀工業団地トランジットセンターを接続する新たなバスを運行します。利用状況に基づく移動実態等を把握することで、町にとって適切な交通サービスの検討を行います。

朝夕の通勤通学の時間帯にハツ木の丘と芳賀工業団地トランジットセンター間の町有バス運行を委託するもので、朝夕それぞれ2便で運行します。

【運行ルート図】

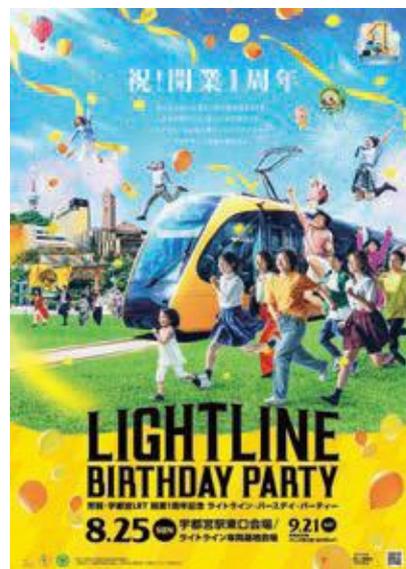


町民祭等開催費(ライトライン開業1周年記念事業) 259万8千円

今年8月、LRTの開業から1周年という大きな節目を迎えます。

今後とも、ライトラインがまちの誇りとして、皆様にますます愛され、地域の足として末永く根付いていこう、開業1周年を祝福する記念事業を実施します。

本事業では、宇都宮市や宇都宮ライトレール株式会社と共同で実施するイベントや、LRTトラベルガイド、開業1周年記念グッズの作成などを実施します。



令和6年6月定例会議案一覧

上程された議案・概要		賛成：○ 反対：×											議決結果	
※小林信二議員は議長のため採決には加わりません。		藤沼英之	市川司	古谷康典	黒崎浩一	中村由美子	有坂隆志	山口菊一郎	岡田年弘	杉田貞一郎	小林一男	石川保		小林信二
		採決結果												
承認														
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀町税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(芳賀都市計画税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告														
報告第2号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
報告第3号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和5年度芳賀町一般会計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
報告第4号	繰越明許費繰越計算書の報告について(令和5年度芳賀町公共下水道事業特別会計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
報告第5号	公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
報告第6号	芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
条例改正														
議案第46号	芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定														
議案第47号	芳賀町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正予算														
議案第48号	令和6年度芳賀町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	令和6年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	令和6年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
同意案														
同意案第2号	芳賀町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
同意案第3号	芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意

委員会活動・常任委員会の議会閉会中の継続調査



常任委員会は、所管する町の事務について自主的に調査を行う権限を有しており、これを「所管事務調査」といいます。

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、議会最終日の6月6日に閉会中の所管事務調査について議長に申し出し、議決により許可されました。各常任委員会は次のテーマについて調査を行い、12月定例会で調査結果を報告する予定です。

総務 これからの公共交通について

教育民生 学校給食における地産地消について

産業建設 都市公園の設備と利活用について

調査の目的

LRTが開業し、LRTを中心とした公共交通ネットワークの充実、第7次振興計画においても重要施策として掲げられている。

これからの公共交通を検討するにあたり、AIなどを活用したデマンド交通、カーシェアリングやシェアサイクル、将来的における自動車自動運転の導入など、新たな公共交通の仕組み・考え方を取り入れていく必要があるため、現状と課題について調査研究する。

調査の目的

子どもたちに地域の良さを知ってもらうため、学校給食において地産地消に取り組んでいるが、より一層の充実の方策を探る。



調査の目的

かしの森の再整備計画が検討されているが、いまだ具体的な方向性が見えてこない。

Park-PFIを利用した店舗等の施設や防災設備、町内からのアクセスなどを考慮した、町民・工業団地勤務者・町外来訪者から必要とされる公園が望まれる。先進事例を参考に調査研究をする。

※Park-PFIとは
民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設などの設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行うものです。

一般質問

町政を問う!

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



石川 保 議員 (6ページ)

- ① かしの森公園の再整備について
- ② 町北部エリア公共交通実証実験について
- ③ 第7次芳賀町振興計画について



黒崎 浩一 議員 (7ページ)

- ① 人口減少対策について
- ② 地域の伝統文化・芸能の保全および継承について
- ③ 町道市の堀線拡幅工事計画について



市川 司 議員 (8ページ)

- ① 町の防災訓練への取り組みや今後の課題について

次回の定例会は 9月3日からの予定です。

多人数の傍聴の際は事前に事務局へご相談ください。

議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。



石川保が問う かしの森公園の再整備は急務

問 宇都宮大学との共同研究について
何時ごろから、研究を開始したのか、その後の研究結果は？

車両など出入り口が左折のみの利用ということは、利便性にあまりにも問題がある。

答 町長 かしの森公園は昭和55年に供用開始しLRT開業に伴いかしの森公園停留所の利用者が19か所中第4位の利用者であり観光客の利用者も増え公園の多くの役割が求められている。交流人口の増加や町の魅力のPRには、継続的にイベントを開催することが重要と考えています。

「子育て世代の憩いの場」「LRT利用者のニーズを満たす場」「各種イベントの開催場所」「地元企業との連携やカーボンニュートラル事業の取組の場」の4つを整備方針として定め、第7次芳賀町振興計画にも位置づけています。

一方で、令和6年5月に、各施設の健全度を調査し、修繕や更新における工法や概算費用、時期および維持管理方法などを検討する長寿命化計画を発注しましたので、その中で改めて西側や、ほかの部分からの出入口などについても検討していきたいと考えています。

公共交通は利便性が重要

問 実証実験の北部地区公共交通は利便性、効率性に課題がある。工業団地内循環バスについても課題がある。デマンドタクシー(ひばりタクシー)なども課題があるが一括した公共交通を確立すべきである。

答 町長 バス路線空白地帯における移動手段の確保および公共交通ネットワークの充実に資する施策であります。

問 公共交通の利便性はこれからの時代「AIオンデマンド」でスマートフォンから予約をしていつ

でもどこでも利用できるシステムが多くの自治体で実施されています。大きなバス、1日数本の交通網は利便性に欠け費用対効果から止めるべきである。

答 企画課長 芳賀町独自の公共交通利活用の検討会を設け、新たな公共交通の在り方、仕組みをさっそく作っていくことで準備を進めています。

振興計画に基づく将来人口15,000人対策は

問 2035年目標値15,000人はどのような根拠か？

答 町長 1,700人の人口増加を図るため市街化区域では祖母井中部地区、祖母井北部地区の整備による人口増を見込み、市街化調整区域では祖陽が丘地区、下原地区における住宅地整備を見込んでいます。

昼夜間人口比率について企業へのアピールは？

問 芳賀台の工業団地(第2工業団地)が本格稼働の際は従業員数は計27,694人と聞いています。昼夜間人口比率は225.6%(令和2年調べ)企業へのPRは？

答 企画課長 企業向けに一本化された町の情報を提供する冊子がなく、今後、定住、教育、福祉、子育て、公共交通など整理をしてPRできるように考えています。



黒崎浩一が問う 人口減少対策について



問 人口減少対策について伺う。町は令和17年時の将来人口を15,000人としているが、どのような計画を検討しているのか伺いたい。

答 町長 将来的な開発計画としては、祖母井中部北部地区や下原地区、50戸連たん地区の計画を順次進めます。

問 中心部から離れた地域においては、限界集落的な地区もある。打開するための方策を伺う。

答 町長 地域コミュニティの活性化や道路、下水道などのインフラ整備、デマンドタクシーなどの公共交通の充実、地域包括ケアシステムなどの施策を引き続き実施していきます。

問 下原地区について町の進捗状況と今後の進め方について伺う。

答 都市計画課長 地区計画制度を活用した整備を行います。今年度は測量や調査を令和7年度に地区計画案決定の法的手続きや開発許可申請を進め、令和8年度の用地買収や工事着手を目指します。

問 具体的な空き家対策について伺う。

答 都市計画課長 相談会の回数増や空き家バンクへの登録を促していきたいと考えています。

地域の文化を守るため寄り添った支援を

問 地域の伝統文化、芸能の保全および継承について。

答 教育長 伝統芸能団体と地域自治体、小中学校と連携し、小中学生に伝統芸能に接する機会やお囃子の練習、地域イベントへの参加を通じて、後継者の育成や地域との交流を深める取り組みを進めております。

町道市の堀線について維持管理の省力化を

問 町道市の堀線拡幅工事計画について伺う。

答 町長 整備を計画している区間は、消防団詰所北側交差点から旧芳志戸小学校入口付近まで役370メートルです。この区間は見通しの悪い事から、安全性確保の為、西側に2.5メートルの歩道を付加した幅9.5メートルでの整備を計画しています。

問 具体的な整備時期を伺いたい。

答 建設課長 本年度詰所北側交差点から南へ約260mの工事を行い、令和7年度は残り110メートルの工事を行いたいと考えております。

問 市の堀の除草などの維持管理について伺う。

答 建設課長 高齢化等の理由により維持管理が難しくなっており、省力化、地域負担の軽減策などについて検討していきたいと考えています。



▲市の堀線



▲太々神楽



市川司が問う 町の防災訓練への取り組みや 今後の課題について問う

問 災害が発生した際、様々な面で協力が必要だと考えられる。現在の自主防災組織について伺う。

答 町長 芳賀町には、自治会単位で組織された14の自主防災組織があり、自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、地域住民が自主的に結成する防災組織で、平常時には災害に備えた取組を実践し、災害時には被害を最小限に食い止めるための応急活動を行います。自主防災組織の存在は、町にとっても大変重要で自主防災組織の防災力向上が町全体の防災力向上につながると考えています。

問 各防災組織に対して交付金を支出しているとのことですが、どのような物を購入しているのか。

答 総務課長 各組織に13万円を上限に交付し、主に非常食や水、ヘルメット、ラジオ、懐中電灯や簡易トイレなどを各自治会の防災組織でそろえており、一応備蓄品は大体そろっており、今後は食料品、水や有効期限がきたものを常時入れ替えていく形で対応していきます。

問 町の公共施設での火災、地震、風水害などの避難訓練の状況を伺いたい。

答 町長 町の公共施設については、消防法第8条に基づき、その施設ごとに防災管理者を定め、消火訓練や避難訓練等を実施することになっており、消防法をはじめとする各種法令に基づき、年に1回または2回、それぞれ火災を想定した避難訓練および消火、通報訓練などを行っています。訓練は基本的に職員のみで行ってありますが、訓練時間に施設利用者がいる場合は利用者の協力を得て、避難誘導の訓練を行っています。

問 防災訓練は土日に行われているが、平日を想定した訓練や災害時に人数が集まらないことも想定される中で有効な訓練になっているのか。

答 総務課長 町と自主防災組織合同で日曜日に訓練は実施し、多くの方に訓練を通じて災害時の対応を経験してもらおうということで、日曜日に実施しています。人数が少ない状態でも対応できるような体制はそろえておく必要があると思います。

問 芳賀町での防災訓練や避難所運営訓練の計画や課題は。

答 町長 防災訓練には情報の収集や伝達訓練、炊き出し訓練、避難所運営訓練、救命救急訓練など様々な訓練がありますが、幾つかの訓練を総合的に行うことも、一つの訓練について内容を掘り下げ実施することも可能で、どのような訓練が効果的か防災訓練を実施していく中で、改善点を見直しながら実施しています。

問 中学生の防災訓練の参加について町の考え方は。

答 学校教育課長 年2回生徒を対象にした避難訓練をその都度テーマを設けながら実施しています。また防災訓練には家族の方と地域の活動に参加するということは、災害時の対応力や防災意識の向上といった点で生徒の皆さんにとっても良い効果が期待される場所です。今後、各地域の自主防災組織の防災訓練に生徒の参加を促すことができないか、考えていきたいと思っています。



こえ
聲

私のいたいこと



廣谷 学さん
(下延生)

自動運転交通網の早期導入

芳賀町はLRTという魅力的な交通網を手に入れました。しかし、そこからつながる町内の交通網が十分とは言えず、自家用車がないと便利な生活をする事が出来ません。

今後、高齢化が進み免許返納者が増えることや、若者の車離れを考えると、芳賀町で持続的に生活するには公共交通機関の充実が必要不可欠になります。さらに運転手不足やITの進化を加味すると自動運転の活用が自然の流れだと思います。

芳賀町近郊には自動運転に力を入れている企業の開発拠点が有り、自動運転による公共交通機関を導入するには恵まれた環境にあります。既に茨城県常総市などでは実証実験を開始しています。

LRT開業を突破口に、充実した交通網整備を具体的に計画し、魅力ある街づくりをお願いいたします。



北條 可奈子さん
(給部)

移動格差のない町に

宇都宮市と芳賀町間でLRTが開通した。このニュースは全国的にも大きく報道され、注目が高まっているのを感じている。LRTの開通により外出機会の増加による消費の維持等の効果が期待されるとしているが、果たして成果を上げられるのだろうか。LRTの開通に伴ってバスの路線を再編したが、その運行エリアは町内でも中心部に留まっている。そもそも、郊外に住む車等の移動手段を持たない住民にとってはLRTが開通しても乗車駅までの交通手段がなく、利便性は以前と何も変わっていないのである。LRT事業の発足以前から町内に蔓延^{はびこ}っていた中心部と郊外との移動格差。この根本的な問題を解決せずして事業が期待する成果を得ることができるのだろうか。郊外にこそ手を伸ばし、耳を傾けてほしい。移動格差のない住みやすい町になることを期待する。



菊池 方敏さん
(東水沼)

次の世代の子供たちのために

昨年、待望の孫が生まれました。私はあと何年生きているか分かりませんが、これから先、孫は100年後に生きて、何を考えているのかを想像したりしてしまいます。100年後、環境問題などまったく心配のない世界になって欲しいと思います。

私は梨農家をしています。年々温暖化によって栽培がやりにくくなってきている中で50年後、100年後ずっとおいしい梨が栽培できて食べられる環境でいてもらいたいと思っています。

それから、今年10月13日には道の駅はがで第1回目のスーパーカブのカブフェスが開催されます。私自身もスタッフの一人として参加予定になっております。開催まで協力していただいた皆様には大変感謝しております。

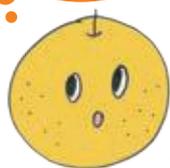
当日は自分の孫を含め、たくさんの方々新旧スーパーカブを見てもらい、楽しい1日にしてもらえたらと思っています。

能登半島地震義援金

芳賀町議会から1月1日に発生した、能登半島地震義援金として10万円を日本赤十字社に送金しました。



ピックアップ



6月24日(月)から7月1日(月)まで、芳賀町の農業やごみのリサイクルなどを学ぶため、東ティモールから研修生4人が来日しました。

6月27日(木)には芳賀北小学校で6年生の児童たちと給食を食べたり交流会を行ったりして親睦を深めました。

はじめは照れくさそうな様子の児童たちでしたが、すぐに慣れたようで、楽しそうに会話をする様子が見られました。

謹告

芳賀町議会議員は公職選挙法の趣旨を踏まえ、申し合わせにより初盆のご挨拶は自粛しています。町民の皆様のご理解をお願い申し上げます。



はがまち

議会クイズ

正解者の中から抽選で3名の方に粗品を進呈します。



問1

LRTは何月に開業一周年を迎えるでしょう？

- ①8月 ②9月 ③10月

問2

固定資産評価審査委員会委員さんの任期は何年でしょう？

- ①3年 ②4年 ③5年

応募方法：はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、議会へのご意見を書いて下記までお送りください。(FAX・Eメール可)

あて先：321-3392
芳賀町大字祖母井1020
芳賀町議会事務局
議会だより係
(FAX) 677-6057
Eメールはこちらから➔



締め切り：令和6年8月31日(土) 必着
※答えは次号で発表します。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

今回はLRTボールペン、はがまるくん道の駅マグネット、入浴剤です。

たくさんのご応募お待ちしております。



195号答え 問1：②7 問2：①町長
たくさんのご応募ありがとうございました。



編集室



今年も暑い季節がやってまいりました。猛暑の中、祖母井神社の祇園祭など各地区で夏まつりが行われています。元気あふれる声や笑顔が飛び交い、暑さも吹き飛ばすほどの活気にあふれており、私自身も元気をいただきました。

また、8月・9月にはLRTの一周年記念のイベントも予定されており、町民の皆さんと一緒に盛り上げていければと思います。

これからも地域の皆さまと芳賀町の発展のため、努力してまいります。

(委員 市川 司)

